

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は弱い動きとなっている。

- ・ 鉱工業生産は減少している。
- ・ 個人消費は弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

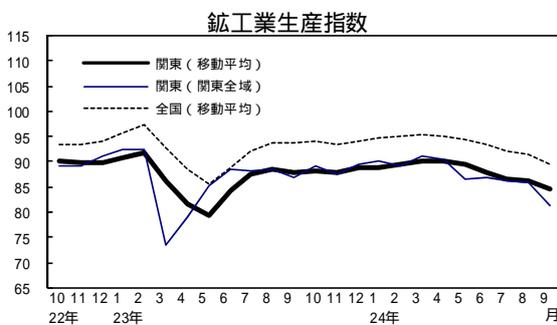
前回調査からの主要変更点

| | 前回(平成24年8月) | 今回(平成24年11月) | |
|-------|--------------|--------------|--|
| 景況判断 | 持ち直しのテンポが緩やか | 弱い動き | |
| 鉱工業生産 | おおむね横ばい | 減少 | |
| 個人消費 | 緩やかに持ち直し | 弱い動き | |
| 住宅建設 | 減少 | おおむね横ばい | |
| 雇用情勢 | 持ち直し | 緩やかに持ち直し | |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は減少している。(関東全域)

輸送機械は、エコカー補助金による政策効果の一巡等により、乗用車等で減産がみられたこと等から減少している。一般機械は、国内市場向け蒸気タービン部品の大幅な減産の影響等により減少している。電気機械は、半導体・IC測定器のアジアへの輸出が大幅に落ち込んだこと等により減少している。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | 出荷 | 在庫 |
|---------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 4~6 月期 | 7~9 月期 | 7~9 月期 | 7~9 月期 |
| 輸送機械 | 15.2 | 4.3 | 11.9 | 16.0 | 10.3 |
| 化学 | 13.4 | 2.9 | | | |
| 一般機械 | 13.2 | 0.0 | 5.3 | 5.3 | 6.9 |
| 電気機械 | 7.8 | 0.2 | 5.2 | 5.3 | 2.0 |
| 食料品・たばこ | 7.1 | 2.2 | | | |
| 鉱工業 | 100.0 | 2.3 | 4.0 | 4.9 | 5.5 |

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

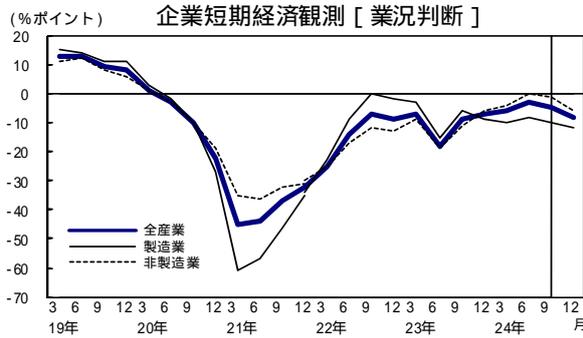
2. 7~9月期は速報値。化学、食料品・たばこは、速報値では公表されていない。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。関東の最新月は速報値。

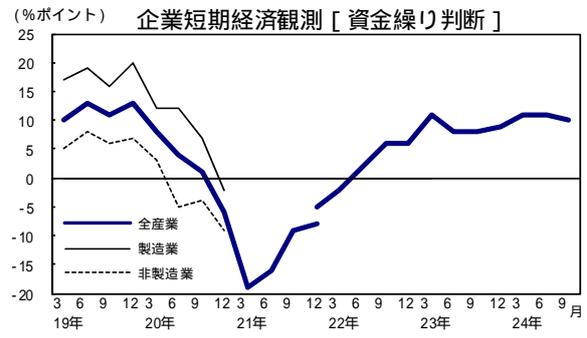
2. 全国及び関東の大線は後方3か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

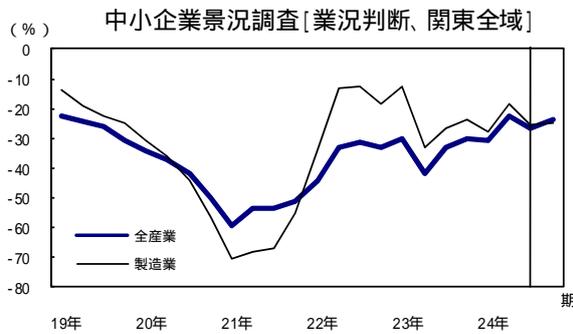
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。24年12月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。
関東全域(新潟県を含む)。



(備考)「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。



(備考)「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

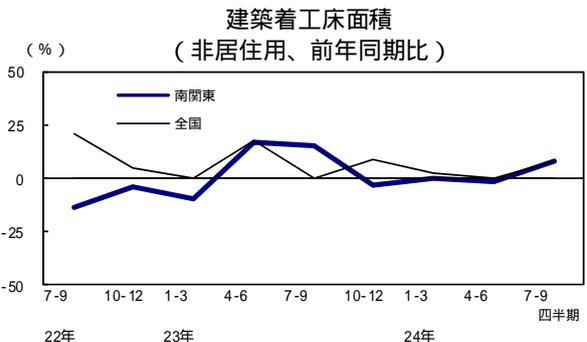
「主要な客先で縮小傾向が進んでいる。また、近隣の優良企業で3年前に隣の土地を購入し、工場も新築した企業が先日倒産した(建設業)」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は前年度を大幅に上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

| | (前年度比、%) | |
|------|----------|--------------|
| | 23年度実績 | 24年度計画 |
| 全産業 | 4.5 | 10.0 (1.3) |
| 製造業 | 11.5 | 10.5 (1.7) |
| 非製造業 | 13.0 | 8.9 (0.4) |

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。
調査対象は神奈川県。



(4) 南関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額

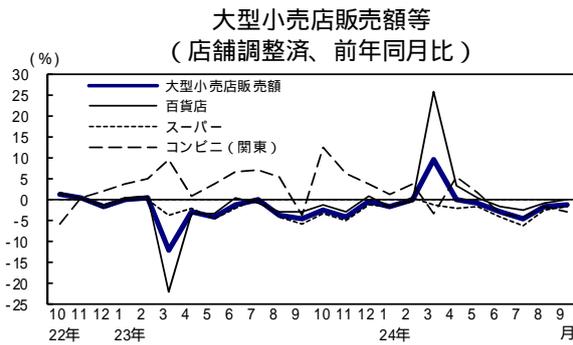
大型小売店販売額は、前年同期比で2.8%減、前期比で0.9%減となった。

百貨店は、7月は、休日日数が少なかったことや天候不順の影響、セール分散化等の影響により前年を下回った。8月は、前年の反動等により高額商品を中心に前年を下回った。9月は、「婦人・子供服・洋品」が低調であった影響を受け、前年を下回った。

スーパーは、猛暑の影響で涼味商品が好調であったが、季節商材の伸び悩み、野菜の相場安等の影響で前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(10月)[家計動向関連(現状)]

「前年比 95~96%くらいで推移している。前年が東日本大震災のため、そういう意味ではあまり良くなく、また、これからも良くなる要素があまり見えない状況で、お歳暮商戦を迎えようとしている(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



| | 23年10-12月 | 24年1-3月 | 4-6月 | 7-9月 |
|-------------|-----------|---------|-------|---------|
| 大型小売店(*1) | 2.3 | 2.4 | 1.4 | 2.8 |
| 百貨店(*1) | 1.1 | 6.8 | 0.4 | 1.5 |
| スーパー(*1) | 3.3 | 0.9 | 2.8 | 3.7 |
| 大型小売店(*2) | 2.1 | 2.8 | 0.9 | 2.1 |
| (季節調整値)(*3) | (0.2) | (0.6) | (0.1) | (0.9) |
| 乗用車(*4) | 21.4 | 49.3 | 62.5 | 15.1 |
| (季節調整値)(*4) | (8.5) | (22.6) | (0.8) | (12.2) |

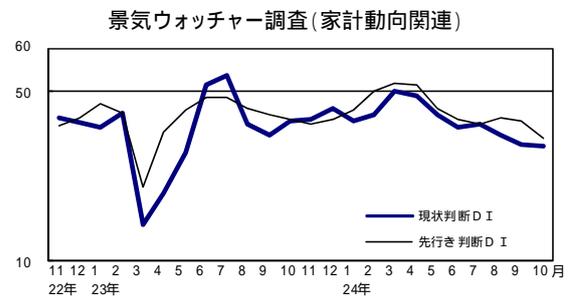
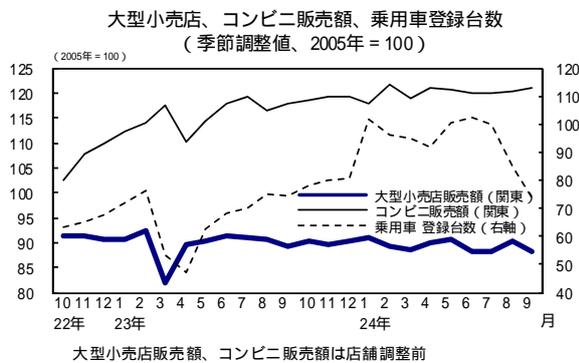
(備考)1.南関東地域、店舗調整済、前年同期比(%)、7-9月は速報値

2.南関東地域、店舗調整前、前年同期比(%)、7-9月は速報値

3.関東全域、店舗調整前、前期比(%)

4.乗用車は新規登録・届出台数

(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。

